

# 単身世帯収支調査結果速報 (平成13年平均)

## 単身全世帯の家計

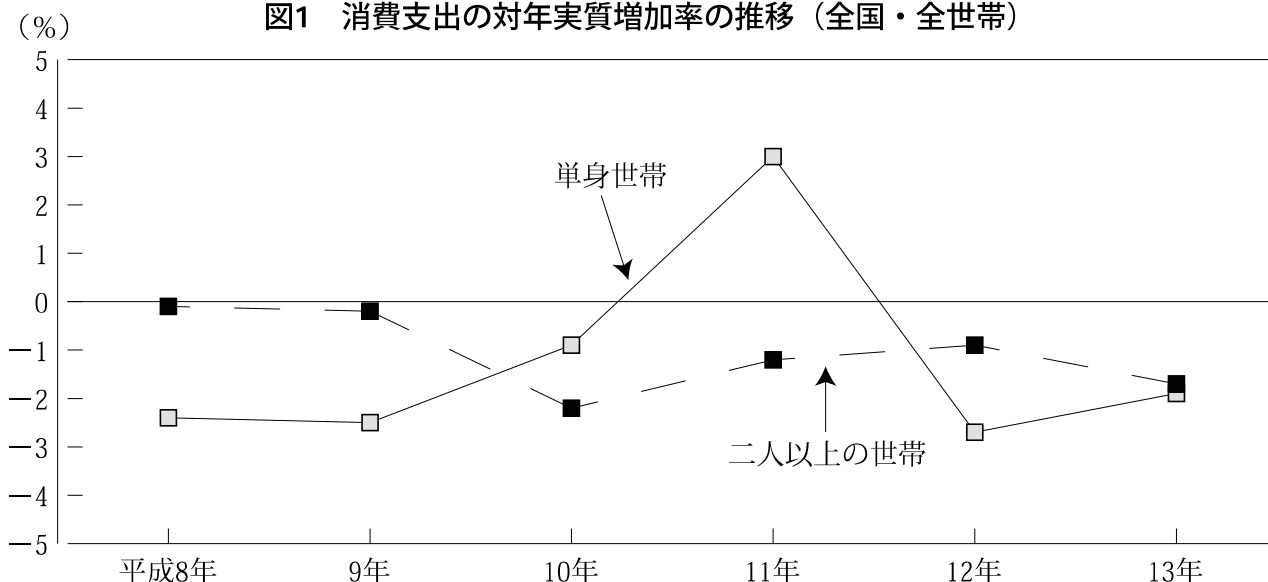
### (1) 消費支出は実質1.9%の減少

平成13年の単身全世帯（平均年齢51.2歳）の1か月平均消費支出は176,523円で、前年に比べ各目2.8%の減少となった。また、消費者物価（-0.9%）が下落したことから、実質では1.9%の減少となった。

平成13年の消費支出を主要費目別にみると、交通・通信（-10.7%）、被服及び履物（-7.9%）が大幅な実質減少となったほか、教養娯楽（-4.1%）、食料（-3.4%）、光熱・水道（-1.8%）も実質減少となった。

一方、保健医療（+10.7%）が大幅な実質増加となったほか、家具・家事用品（+3.3%）、住居（+2.6%）も実質増加となった。（図1、図2、表1、表2）

図1 消費支出の対年実質増加率の推移（全国・全世帯）



注：単身世帯は「単身世帯収支調査」、二人以上の世帯は「家計調査」による。

また、平成12年以前は、農林漁家世帯及び寮・寄宿舎に進む単身者を含まない結果による。（以下同じ。）

図2 主要費目の対前年実質増加率（平成13年—全国・単身全世帯）

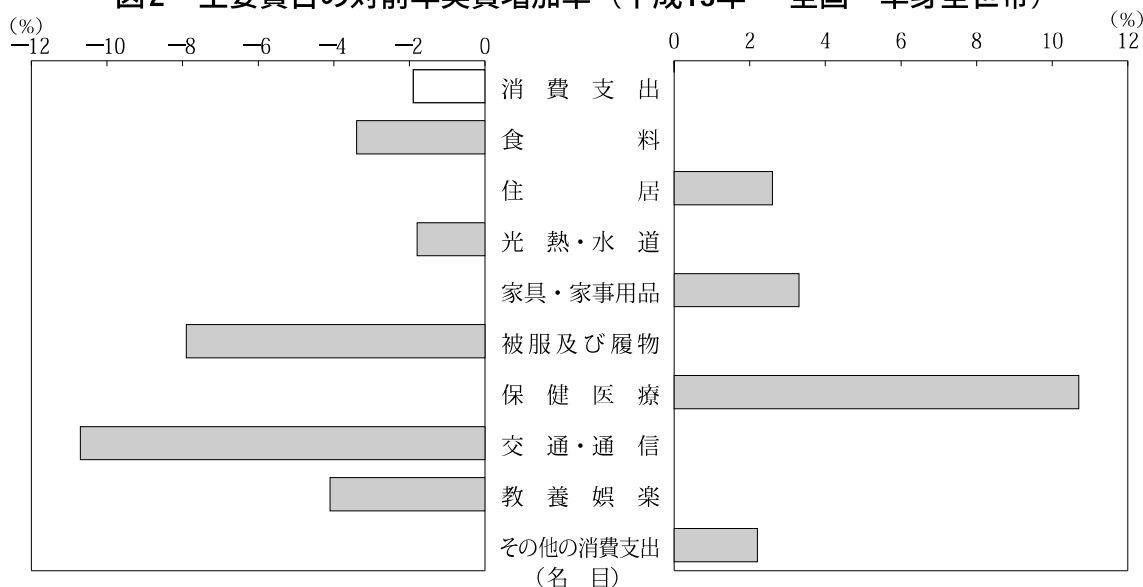


表1 消費支出金額と対前年（同期）増加率の推移（全国・全世帯）

年次期	単身世帯			二人以上の世帯	
	月平均額 (円)	名目増加率 (%)	実質増加率 (%)	名目増加率 (%)	実質増加率 (%)
平成7年	190,994	—	—	—	—
8	186,360	-2.4	-2.4	-0.1	-0.1
9	184,723	-0.9	-2.5	1.4	-0.2
10	184,266	-0.2	-0.9	-1.5	-2.2
11	189,117	2.6	3.0	-1.6	-1.2
12	181,614	-3.6	-2.7	-1.8	-0.9
13	176,523	-2.8	-1.9	-2.6	-1.7
平成12年					
1～3	177,707	—	—	—	—
4～6	183,724	—	—	—	—
7～9	178,264	—	—	—	—
10～12月期	181,427	—	—	—	—
平成13年					
1～3	166,027	-6.6	-6.0	0.7	1.3
4～6	171,017	-6.9	-6.0	-3.9	-2.9
7～9	171,309	-3.9	-2.9	-3.5	-2.5
10～12月期	178,408	-1.7	-0.4	-3.7	-2.4

表2 消費支出の費目別支出金額と対前年増加率（全国・単身全世帯）

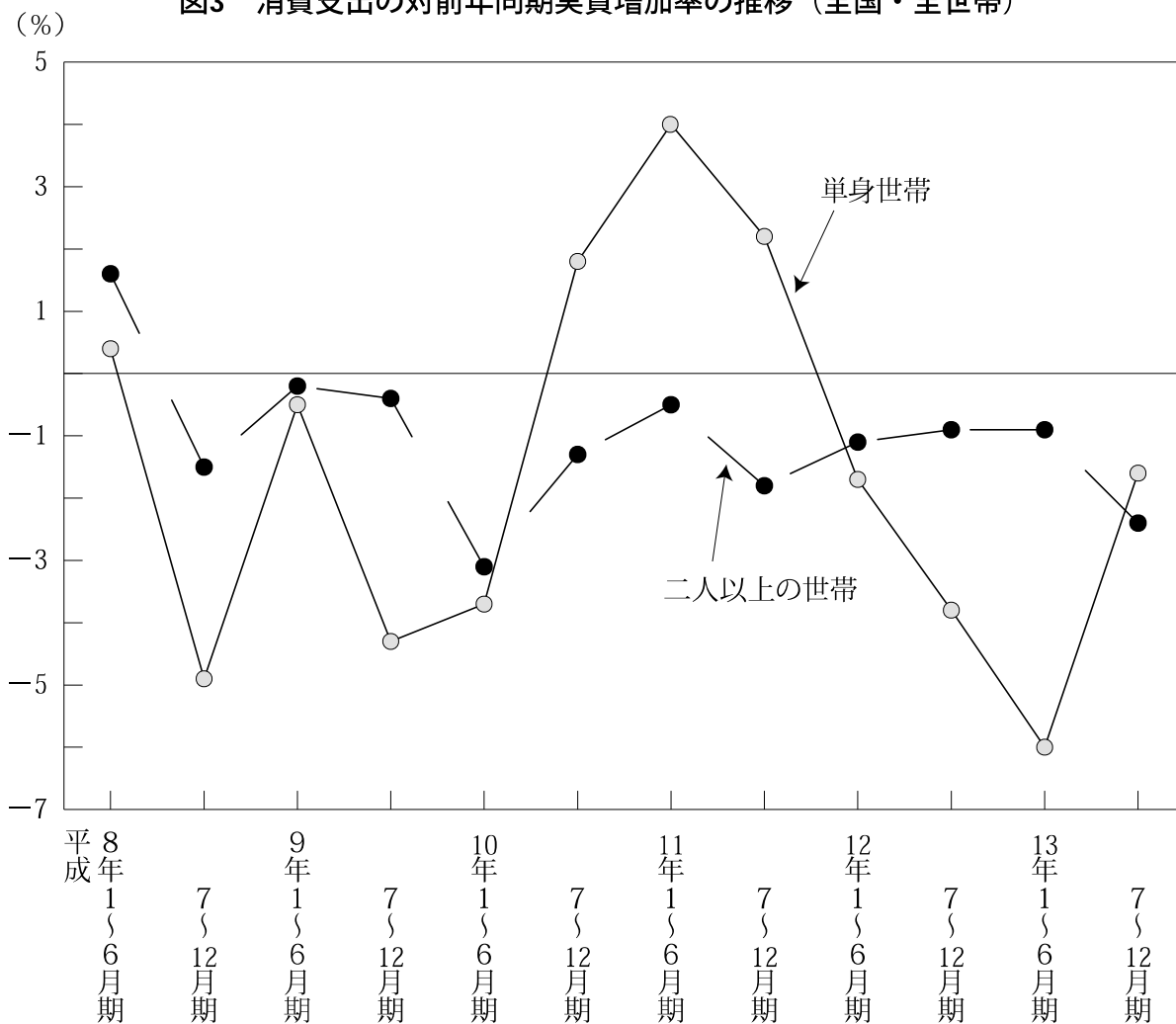
項目	平成12年		平成13年		
	月平均額 (円)	月平均額 (円)	名目増加率 (%)	実質増加率 (%)	実質寄与度 (%)
年齢（歳）	50.8	51.2	—	—	—
持家率（%）	41.0	41.0	—	—	—
消費支出	181,614	176,523	-2.8	-1.9	-1.9
食料	42,031	40,359	-4.0	-3.4	-0.79
穀類	2,625	2,475	-5.7	-4.0	-0.06
魚介類	2,514	2,334	-7.2	-6.6	-0.09
肉類	1,303	1,190	-8.7	-8.4	-0.06
乳卵類	1,309	1,211	-7.5	-5.9	-0.04
野菜・海藻	3,066	2,954	-3.7	-5.6	-0.09
果物	1,342	1,314	-2.1	-1.2	-0.01
油脂・調味料	939	933	-0.6	0.7	0.00
菓子類	1,847	1,735	-6.1	-4.9	-0.05
調理食品	5,354	5,089	-4.9	-3.8	-0.11
飲料	2,665	2,694	1.1	2.8	0.04
酒類	1,951	1,834	-6.0	-5.3	-0.06
外食	16,811	16,029	-4.7	-4.1	-0.38
賄い	306	569	85.9	—	—
住居	25,543	26,075	2.1	2.6	0.37
家賃	21,355	21,082	-1.3	-1.2	-0.14
設備修繕・維持	4,187	4,993	19.3	20.3	0.47
光熱・水道	9,474	9,358	-1.2	-1.8	-0.09
電気代	4,314	4,157	-3.6	-2.2	-0.05
ガス代	2,946	2,987	1.4	-0.5	-0.01
他の光熱	529	545	3.0	-3.3	-0.01
上下水道料	1,685	1,669	-0.9	-2.7	-0.03
家具・家事用品	4,717	4,699	-0.4	3.3	0.09
家庭用耐久財	1,282	1,666	30.0	40.7	0.29
室内装備・装飾品	641	456	-28.9	-28.1	-0.10
寝具類	598	348	-41.8	-39.6	-0.13
家事雑貨	905	889	-1.8	-0.9	0.00
家事消耗品	821	759	-7.6	-4.5	-0.02
家事サービス	470	581	23.6	23.1	0.06
被服及び履物	9,015	8,122	-9.9	-7.9	-0.39
和服	301	93	-69.1	-68.0	-0.11
洋服	3,820	3,727	-2.4	0.6	0.01
シャツ・セーター類	1,900	1,693	-10.9	-8.0	-0.08
下着	610	509	-16.6	-16.1	-0.05
生地・糸類	143	94	-34.3	-33.3	-0.03
他の被服	576	574	-0.3	-0.5	0.00
履物類	1,070	844	-21.1	-20.2	-0.12
被服関連サービス	595	588	-1.2	-1.1	0.00
保健医療	4,675	5,211	11.5	10.7	0.28
医薬品	1,061	1,011	-4.7	-3.9	-0.02
健康保持用摂取品	483	562	16.4	—	—
保健医療用品・器具	956	1,051	9.9	12.6	0.07
保健医療サービス	2,175	2,587	18.9	15.7	0.19
交通・通信	22,894	20,252	-11.5	-10.7	-1.35
交通	7,246	6,346	-12.4	-12.7	-0.51
自動車等関係費	9,233	7,157	-22.5	-23.1	-1.17
通信	6,415	6,749	5.2	12.0	0.43
教育	10	106	—	—	—
教養娯楽	25,097	23,350	-7.0	-4.1	-0.56
教養娯楽用耐久財	3,145	2,375	-24.5	-4.1	-0.07
教養娯楽用品	4,554	4,363	-4.2	-3.1	-0.08
書籍・他の印刷物	3,689	3,471	-5.9	-6.1	-0.12
教養娯楽サービス	13,709	13,142	-4.1	-3.1	-0.24
その他の消費支出	38,159	38,990	2.2	—	—
諸雑費	12,161	12,493	2.7	2.9	0.20
使途不明金	30	65	116.7	—	—
交際費	20,540	20,410	-0.6	0.3	0.03
仕送り金	5,428	6,022	10.9	—	—

（注）交際費の実質増加率は、「持家の帰属家賃を除く総合」の消費者物価指数で実質化した。

## ■調査から

平成13年の消費支出を半期別に対前年同期実質増加率でみると、1～6月期は、自動車等購入、パソコンなどの耐久財への支出が大幅に減少したことから、実質6.0%の減少となった。7～12月期は、家賃、電話通信料などのサービスへの支出が増加したものの、自動車購入などの耐久財などへの支出が大幅に減少したことから、実質1.6%の減少となった。(図3)

図3 消費支出の対前年同期実質増加率の推移 (全国・全世帯)



## (2) 費目別にみた消費の特徴

- ア **食料**は40,359円で、名目4.0%、実質3.4%の減少となった。食料は、飲料、油脂・調味料が実質増加となったものの、肉類、魚介類、乳卵類、野菜・海藻、酒類が大幅な実質減少となったほか、菓子類、外食、穀類、調理食品、果物も実質減少となったため、全体として実質減少となった。
- イ **住居**は26,075円で、名目2.1%、実質2.6%の増加となった。住居は、設備修繕・維持が大幅な実質増加となったが、家賃地代は実質減少となった。
- ウ **光熱・水道**は9,358円で、名目1.2%、実質1.8%の減少となった。光熱・水道は、他の光熱、上下水道料、電気代、ガス代のすべてが実質減少となった。
- エ **家具・家事用品**は4,699円で、名目0.4%の減少、実質3.3%の増加となった。家具・家事用品は、寝具類、室内装備・装飾品が大幅な実質減少となったほか、家事用消耗品家事雑貨も実質減少となったものの、家庭用耐久財、家事サービスが大幅な実質増加となったため、全体として実質増加となった。
- オ **被服及び履物**は8,122円で、名目9.9%、実質7.9%の減少となった。被服及び履物は、洋服が実質増加となったものの、和服、生地・糸類、履物類、下着類、シャツ・セーター類が大幅な実質減少となったほか、被服関連サービス、他の被服が実質減少となったため、全体として大幅な実質減少となった。
- カ **保健医療**は5,211円で、名目11.5%、実質10.7%の増加となった。保健医療は、医薬品が実質減少となったものの、保健医療サービス、保健医療用品・器具が大幅な実質増加となったため、全体として大幅な実質増加となった。
- キ **交通・通信**は20,252円で、名目11.5%、実質10.7%の減少となった。交通・通信は、通信が大幅な実質増加となったものの、自動車等関係費、交通が大幅な実質減少となったため、全体として大幅な実質減少となった。
- ク **教養娯楽**は23,350円で、名目7.0%、実質4.1%の減少となった。教養娯楽は、書籍・他の印刷物が大幅な実質減少となったほか、教養娯楽用耐久財、教養娯楽用品、教養娯楽サービスも実質減少となった。
- ケ **その他の消費支出**は38,990円で、名目2.2%の増加となった。「その他の消費支出」は、交際費が減少となったものの、仕送り金が大幅な増加となったほか、諸雑費も増加となった。(名目)(表2)

### (3) 単身世帯の消費支出は二人以上の世帯の0.57倍

平成13年の単身世帯の1か月平均消費支出（176,523円）は、13年の二人以上の世帯（全国・全世帯。家計調査結果（13年平均）による。）（世帯主の平均年齢53.6歳）の1世帯当たり1か月平均消費支出（309,054円）の0.57倍となっている。

なお、世帯人員1人当たりに換算すると、二人以上の世帯（94,224円）の1.87倍となって、消費支出に占める費目別割合をみると、二人以上の世帯に比べて支出割合が高い費目は、教養娯楽となっている。なお、住居のうち家賃地代については、二人以上の世帯より割合が高くなっている。

一方、支出割合が低い費目は、教育、「その他の消費支出」、光熱・水道、家具・家事用品、保健医療、食料、被服及び履物、交通・通信となっている。なお、食料のうち外食について二人以上の世帯より割合が高くなっている。（図4、表3）

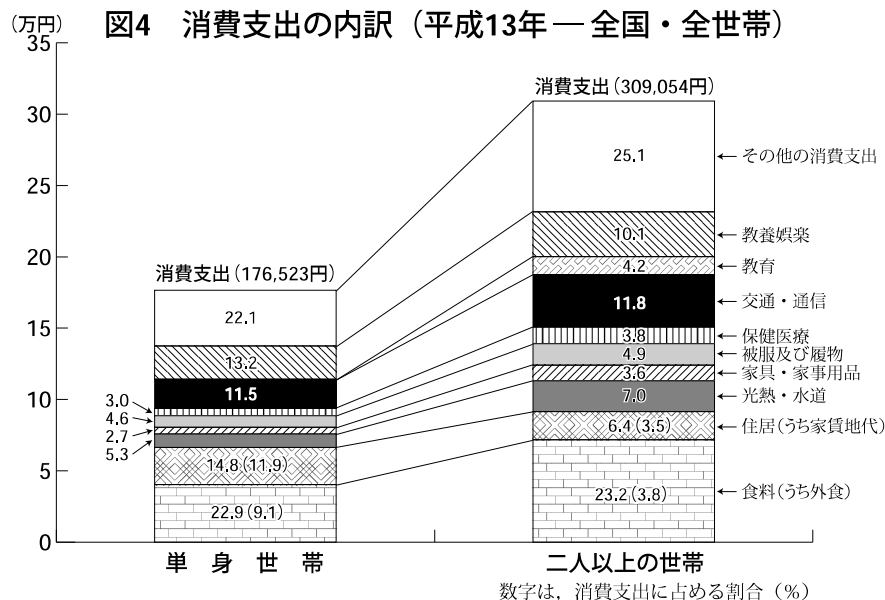


表3 消費支出の費目別支出金額と構成比（平成13年—全国・全世帯）

項 目	月 平 均 額 (円)		構 成 比 (%)		比 率(倍) 単身世帯 二人以上の世帯
	単身世帯	二人以上の世帯	単身世帯	二人以上の世帯	
世帯人員(人)	1.00	3.28	—	—	—
世帯主の年齢(歳)	51.2	53.6	—	—	—
持家率(%)	41.0	77.1	—	—	—
消費支出	176,523	309,054	100.0	100.0	0.57
食料	40,359	71,770	22.9	23.2	0.56
外食	16,029	11,838	9.1	3.8	1.35
住居	26,075	19,679	14.8	6.4	1.33
家賃地代	21,082	10,916	11.9	3.5	1.93
光熱・水道	9,358	21,529	5.3	7.0	0.43
家具・家事用品	4,699	11,144	2.7	3.6	0.42
被服及び履物	8,122	15,057	4.6	4.9	0.54
保健医療	5,211	11,591	3.0	3.8	0.45
交通・通信	20,252	36,507	11.5	11.8	0.55
教育	106	12,929	0.1	4.2	0.01
教養娯楽	23,350	31,299	13.2	10.1	0.75
その他の消費支出	38,990	77,551	22.1	25.1	0.50